

森りょうじ リポート。(59号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

第2回定例会の総括(6/7-6/26)

年に4回開催される定例会の中で、6月開催の定例会は予算や決算審査がない分、比較的穏やかな傾向があります。今議会では、当初議案19件(放射能対策のための補正予算や水道料金改定、景観条例改正など)に関しては全て原案通りに可決されました。(全議案の採決結果は市議会ホームページ・議会だよりに掲載)

「流山市市民参加条例」が成立。

昨年11月から2度継続して審議をしてきた同条例が一部の有志議員(私も修正協議に参加)の修正によって可決(16対11)しました。内容は以前会報で特集しましたが、同条例の制定により一層の市民参加が進むことが期待されます。この条例は市民の方が原案策定段階から関わってききましたので、今後も市民の方が条例を積極的に活用していくことが重要だと考えます。

みんなで作ろう!市議会ホームページ。

現在、市議会公式ページをリニューアル中です。そこで皆さんの意見を反映させ、よりよいものを目指しておりアンケートへのご協力をお願いしたいと思います。(詳しくは市議会ホームページをご覧ください)

8月の駅頭活動はお休みします。

議会のない月に実施している駅頭活動ですが、夏休みシーズンですので8月はお休み致します。併せてWEB・駅頭用の会報も休刊させていただきます。

1976年6月12日流山生まれ(36歳)

サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

2000年4月 大成建設株式会社に入社

2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦(次点)

2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)
世界や日本の地方政治・地方自治を研究

2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選
政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味:政治(人と語る・駅頭)・読書・ノミネーション

体型:身長159.5cm・体重55.0kg

後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

森が動く。

森りょうじ



流山市議会議員

日本経済新聞社が行う全国の地方議会改革度ランキングで流山市が全国1位となりました。(5/21版)街頭活動中も評価の声を多くいただきました。これは率直に喜ばしいものと言えます。

ただし“評価=議会への信頼”とは言えませんので、今後はこの評価を皆さんの“議会・政治に対する信頼”にしていく責任を感じています。当市議会はその努力を続けて参ります。

地方主導の産業振興政策を

【一般質問ダイジェスト】

流山市は住宅都市の側面が強く、大きな企業や産業は限られています。また中小零細企業法人が75%を占めているのも特徴の一つ。そこで今回は「流山市産業振興基本条例」を産業振興・雇用対策という切り口から検証をしながら、提案・要望を織り交ぜた質問を行いました。

雇用対策 一部抜粋

地域職業相談室（江戸川台）の機能強化
設置場所の再検討、ジョブカフェとの連携
キャリア教育の充実強化（教育長へ質問）
若年層の離職傾向が強いことへの対策
シルバー人材センターへの支援充実
放射能測定等を委託との答弁（副市長）

市内既存企業との連携を

日本という国単位で産業の現状を見るとデフレ、円高、電気料金値上げなど、今後も企業を取り巻く環境の厳しさが伺えます。大局の産業政策は国主導が一般的ですが、ここ数年の中小企業対策の実績を見ると地方も黙って見ていけばよいというわけにはいきません。そこで市内企業の実態把握の強化など支援・サポート体制作りを行う必要があり、産業振興部長からも前向きな答弁がありました。

企業誘致へのリスク管理を

地域活性化、税収確保、雇用創出のために企業誘致は街づくりの基本路線です。当市でも企業誘致に取り組んでいますが、その際に出す補助金などに関して、撤退する企業から回収できない事例が全国で起っており危機管理について指摘をしました。

自治体による新規産業育成

地方のみならず国の成長と発展を考えるならば、新しい産業を育成していくことも大切なこと。その環境づくりは同条例でも明記しています。その可能性を市長に質したところ「環境分野」に期待する旨の答弁でした。他業種も含め可能性を追求します。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

観光政策の充実に向けて

【一般質問ダイジェスト】

皆さんが訪れる様々な旅先の中で再訪問したいという地域には、大きな目的（宿泊施設や観光名所）に加えて、別の理由があると思います。文化、歴史、食事、美しい景観、地域との交流、交通の利便性など…。

そこで主要な観光都市を調べて見ると“おもてなし”という理念を持ち、観光政策を進めている事例が散見されるようになってきました。例えば下記の事例があります。

“おもてなし”とは？ 一部抜粋

歴史や自然を生かしたまちづくり
スムーズで快適な交通体制（価格・時間）
分かりやすい案内標識・命名
多様なニーズに応じた仕組（トイレ開放）

（上記の他にもありますが）流山市は「交流人口5倍の実現」を掲げています。今後、目標の達成に向けては徹底した取り組みが必要だと感じています。

そこで観光政策における“おもてなし”基準の設置と実効力のある組織の立ち上げ、また充実強化を図るべきとの提案でした。

担当部長からは、組織の立ち上げを検討したいとの前向きな答弁ありました。

皆さんも魅力的に感じた“他市のおもてなし”についてご意見をお寄せ下さい！

地域主権に向けて

【一般質問ダイジェスト】

政治や行政は皆さんの声を汲み取りながら様々な問題を解決していくことで“住みよい街”にしていく責任があります。ただし課題への対応に関しては“解決するための権限”がなければ事態は改善しえません。今回は市内で増えているNPO活動の更なる活性化に向け、千葉県からの設立申請業務権限の移譲を提案しました。近隣他市と連携して対応をしていきたいとのことでした。

【連絡先】 TEL & FAX: 7155 3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp